



## 1 『灯火親しむべし ～読書の魅力について～ 』

11月の声を聴いた途端に、空が高く澄み渡り、日ごとに秋の深まりが感じられます。今年はとりわけ夏が長かったので、冬の前の秋はあっという間に過ぎてしまいそうですが、食べ物に限らず、芸術やスポーツと実りの多い季節なので、それぞれの『秋』を楽しみたいものです。中でも、後期始業式で紹介した秋の季語「灯火親しむべし」が物語っているように秋の夜長は読書するのにうってつけです。

その読書について、気になる統計結果があります。小中高生の半数以上が読書の時間がゼロ、一方、スマホの使用時間は延びていて、長い人ほど本を読む時間が短いというのです。

今月13日に開かれた生徒総会の議案書に前期の活動総括が載っています。その中の委員会の取り組みに「本を読もう」とありますが、借りた本を読まずに返却する人がいるようです。忙しくて読む時間がなく返却したのではなく、初めから読む気がなくて借りる冊数を増やすのが目的だとしたらあまりにも残念な考え方です。本来、読書とは読んだ冊数を競うためにするのではなく、純粋に「その本を読みたい」からするのです。

そこで、「本を読むのが苦手」という人にも、珠玉の一冊と出会ってほしいので、私なりの読書の魅力を以下に述べます。

まず、どの項目も頭に『居ながらにして』という文言を付けて読んでください。

- ① 世界中どこへでも旅行できます。(重い荷物も旅費もいりません) また、過去にも未来にも時空を超えてタイムトラベルができます。
- ② 知りたかったことや知らなかったことを知ることができます。(知識が増えます)
- ③ 想像力が豊かになります。
- ④ 視野が広がり、語彙(使える言葉)が増えます。
- ⑤ ストレス解消になり、自分をコントロールする力がつきます。…などなど。

このほかにもまだまだ沢山の魅力があると思います。専門書や古典など様々なジャンルがあるので、興味のある本から手に取ってみましょう。絵本でも図鑑でもOKです。まずは、3冊最後まで読んでみる。これが本を読むことが好きになるコツだそうです。そして、その本のお気に入りの場面を探し、人にすすめてみる。理由は、途中で投げ出さず最後まで読みきることによって自信がつき、自分の好きな本を紹介することで人との会話が生まれ、さらに深く読み味わうことができるからだそうです。

『頭の中は日本より広い。』これは、夏目漱石の『三四郎』という小説の中の言葉です。熊本から東京の大学へ入学するために上京する汽車の中で、主人公の三四郎が出会う人物が「熊本より東京は広い。東京より日本、日本より頭の中はもっと広い。とらわれてはいけない。」と語ります。私は学生の頃このことばに出会ってとても感動したことを覚えています。頭の中は自由に誰にも束縛されず無限の可能性に満ちていることに気づかせてくれました。今でも大切にしていることばです。

改めて、本はすごいと思います。ページをめくりさえすればワンダーランドへの扉はいつでも開いているのです。知的好奇心が満たされれば、さらに自分の世界が豊かに広がります。

さあ、今秋はあなたも読書の魅力を体感してみませんか。



## 2 八女地区駅伝大会 (11月6日)

朝練から真剣に走り込み、当日は秋晴れとはいえ強い風が吹く中、赤いタスキをつなぐために全員が心を一つにして筑後広域公園内のコースを懸命に走りきりました。



## 3 生徒総会 (11月13日)

令和7年度後期から8年度前期までの生徒会活動方針が執行部から提案され、生徒による質疑意見修正案を経て、可決されました。



## 11, 12月の主な学校行事等(予定)

11月 6日(木) 八女地区駅伝大会

13日(木) 生徒総会・水泳日・定時退校日

18日(火) 3年進路学習会

20日(木) 後期中間考査①

21日(金) // ②・修学旅行説明会

21日(金) 保護者と学ぶ規範意識教室

25日(火) 常任委員会

27日(木) 小中連携授業研修・定時退校日

28日(金) 生徒集会

☆SC 来校(水曜日)

11月12日・19日・26日

12月 1日(月)安全点検日・4時間授業

2日(火)～5日(金)三者面談

8日(月)平和学習講話

12月 9日(火) 職業講話(1年)

11日(木) 職員会議

12日(金) 職業講話(1年)

16日(火) 広報委員会

17日(水) 校内清掃日

18日(木) 常任委員会

19日(金) 大掃除・ワックスかけ

22日(月) 校内推薦委員会

23日(火) 大掃除

24日(水) 生徒集会・職員会議

☆SC 来校(水曜日)

12月3日・10日・17日

※行事については、都合により変更することがあります。ご了承ください。

